

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月08日

計画の名称	大規模盛土造成地の耐震化の推進（防災・安全）										重点配分対象の該当	○	
計画の期間	令和03年度～令和03年度（1年間）												
交付対象	内子町												
計画の目標	内子町内の大規模盛土造成地について造成地の安全性確認調査を行い、結果を住民に周知することによって防災意識を高めるとともに、南海トラフ巨大地震等に備えた対策工事にに向けた準備を加速させることを目的とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3	A	3	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R3末)
1	内子町内の大規模盛土造成地1箇所について、安全性確認調査を行う。 内子町内の大規模盛土造成地1箇所について、安全性確認調査を行う。	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																					
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	内子町	直接	内子町	—	—	大規模盛土造成地の変動 予測調査（内子町）	大規模盛土造成地の変動予測 調査（第2次スクリーニング 計画 1箇所）	内子町	■						3		—	
												小計							3		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本整備総合交付金事業の事後評価として内子町で実施

事後評価の実施時期

令和4年9月

公表の方法

内子町のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する

交付対象事業の効果の発現状況

第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地1箇所について、変動予測調査（造成年代調査、現地調査、優先度評価）を実施し、第二次スクリーニング計画を公表して住民等へ情報を提供することにより、地震等による災害の未然防止や被害の軽減に寄与する。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

第二次スクリーニングを実施し、防災意識の向上を図り、地震等による災害の未然防止や被害の軽減につなげる。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

(参考図面)

計画の名称	大規模盛土造成地の耐震化の推進（防災・安全）		
計画の期間	令和3年度～令和3年度（1年間）	交付対象	内子町
 A-13-1 宅地耐震化推進事業 大規模盛土造成地の変動予測調査 調査対象：内子町			